

# 平成 26 年度スキルアップ経費報告

## ー測定工具取扱い及び定期検査方法の技術習得ー

実習工場技術班 石丸 恭平, 田中 正浩

### 1. 背景・目的

実習工場では、各研究室から実験で使用する装置や部品、試験片等の製作依頼加工を行っている。ものづくりの現場において、製作および完了時には測定は欠かせないものである。そのときに使用される測定工具が正しく取り扱われていることがものづくりにおいて最も基本になる。そして、測定工具が正しく管理され精度が保たれていることが、製品不良の発生を防ぎ、製品・部品を提供する上で非常に重要である。

測定工具の正確さを維持するための検査・管理の方法が厳密に決められており、測定工具の劣化による不確かさをできるだけ小さくするために、定期的に検査し機能と精度を維持するための技術を習得する必要がある。また、実習でも学生が測定工具を使用するため、正しい取り扱い方法の指導にも参考になる。

### 2. プロジェクト実施報告

#### 2.1 講習日程及び場所

平成 26 年 8 月 27 日～平成 26 年 8 月 29 日 (3 日間開催)

株式会社ミットヨ 関西営業 1 課内

#### 2.2 講習内容

##### 1 日目

計測の重要性と定期検査

ブロックゲージの取扱い実習

測定器の取扱い及び検査実習 (ノギス)

##### 2 日目

測定器の取扱い及び検査実習 (マイクロメータ)

##### 3 日目

測定器の取扱い及び検査実習 (ダイヤルゲージ・てこ式ダイヤルゲージ)

### 3. まとめ

この度の講習会を受講して、測定工具取扱いの基礎と定期検査技術を習得することができた。講習会のテーマである定期検査技術の習得により、測定工具の機能と精度を維持することができ、測定工具の不確かさを小さくすることにより、ものづくりにおける誤差が生じにくくなる。よって、実習工場における製作依頼加工業務のさらなる高精度加工を行うことができる。また、学生実習で測定実習を行っており、実務的な技術を習得かつフィードバックすることができる。この講習会で測定技術の向上などのスキルアップができ、これまで以上に実習工場における今後の教育・研究支援業務、高精度な実験装置の製作に活かすことができる。

謝辞: このたびのスキルアップ経費による講習を受講するにあたって、ご尽力いただいた関係各位に感謝申し上げます。